

第424回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	3番 伊藤勝美	<p><b>1. 平成29年度当初予算と施政方針について</b></p> <p>平成29年度は「第5次白石市総合計画」の7年目であり、引き続き総合計画に掲げた施策を通し、白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」の実現を目指します。</p> <p>また、白石版地方創生総合戦略『白石市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」及び「総合戦略」』に基づき、市の最上位計画である「第5次白石市総合計画」を着実に推進します。と掲げられています。</p> <p>(1) 平成29年度予算編成については、前市長の風聞市政との関係で、大幅な山田市長色は余り出せなかったのかなと思いますが、山田市長として最も苦労されたことはどんなことだったのか、お聞かせください。</p> <p>(2) 平成29年度当初予算編成に当たり、平成28年度の決算見込みをどう反映したのか、そして、平成29年度当初予算の特徴は何か、お聞かせください。</p> <p>(3) 厳しい財政状況下においても持続可能な効率的で質の高い行政サービスの実現を目指すため、平成28年2月に策定した「白石市行財政改革推進計画（集中改革プラン）〔第3次改訂版〕」に基づき、引き続き業務の効率化、歳入の確保、歳出の削減など、一層の行財政改革を推進し、選択と集中によるメリハリのある行財政運営に取り組みます、とありますが、</p> <p>① 予算案の中でも、時代の変化や市民ニーズを反映して、政策的な新規の事業もあり大変評価しますが、一方で既存の事業の整理が進んでいないように思われます。事業の選択と集中というのはどのように行われているのか、お聞かせください。</p> <p>② 事業を見ると、どれも必要性があって、市民にも定着しているものであり、行政側から廃止の判断をするのは難しいと思います。予算案の中で新規の事業などは見えてきますが、廃止や縮小した事業は具体的にどれくらいあるのか、お聞かせください。</p> <p>(4) 『白石市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」』に掲げている、新庁舎の建設に向けた準備を進めるため、新庁舎建設のための基金を設置すると思いますが、新庁舎建設は、何年後頃に予定しているのか、伺います。</p> <p>(5) 地方交付税については、国の配分が全体で前年度比2.2%減とされたことを受けて、本市への交付見込額も減額されているようですが、財政計画を立てる上で、今後の人口減少に伴う市税や地方交付税などの減少は、本市財政にどのような影響を及ぼすのか、お聞かせください。</p> <p>(6) 財政調整基金は、標準財政規模の10%が望ましい</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	とされていますが、どう認識しているのか、また、同基金の今後の積み立ての見通しはどうか、さらに、ほかの基金の積み立て状況と見通しはどうか、お聞かせください。	
		<p><b>2. 新地方公会計制度について</b></p> <p>地方分権が推進される中、地方公共団体にはこれまで以上に、自由でかつ責任ある地域経営が求められています。そのためには、まず初めに、現在の地方公共団体の財政の状況が適切に示されることが大切になってきています。これまで形成してきた資産がどれくらいあるか、将来の負担はどれくらいあるかなど、今の状態を知ることが、これからの自治体運営の判断材料となります。</p> <p>しかし、財政の状況は、これまでも決算報告として示されていますが、資産や将来の負担などについての全体像を示すことについては十分ではありませんでした。</p> <p>新地方公会計制度とは、これまでの決算報告とは違った形で地方公共団体の財政の全体像を適切に示すために導入される新しい会計制度と言われています。</p> <p>(1) 公会計制度による財務諸表の整備を導入していくこととなりますが、その前提となる固定資産台帳の整備状況と公表予定について伺います。</p> <p>(2) 公会計の利活用には、簿記の仕組みを理解することが重要かと思いますが、現在、どの程度の職員が簿記の知識を有しているのか、簿記に関する資格の取得者はどの程度なのか伺います。</p> <p>(3) 職員の方々は、OJTの中で知識を身につけ、しっかりと業務はこなしていると思いますが、今後における職員研修は、どのようになされるのか伺います。</p>	市長
		<p><b>3. 教育行政について</b></p> <p>(1) 教員免許更新制について</p> <p>① 平成21年4月から教員免許更新制が導入されています。教員の資質が問題となり、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身につけることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すとされています。</p> <p>教員免許更新制は、免許有効の期間を10年とし、期限切れ前に大学などで計30時間の講習を受け、証明書を都道府県教育委員会に提出することになっています。教育職員免許状更新講習を受講・修了しないと、免許状が失効するという制度です。不適格教員の排除が目的ではありませんので、受講すれば全員更新できますが、講習の受け忘れなどで、失効した教員が極少数ですがいると報告さ</p>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	<p>3番 伊藤勝美</p>	<p>れています。</p> <p>(i) 導入から今日まで相当時間の経過がありますが、導入後の成果等についてお聞かせください。</p> <p>(2) 部活動のあり方について</p> <p>① 現在の中学校学習指導要領で、部活動は学校教育の一環であるものの、教育課程の外に位置付けられています。子供が自主的・自発的に参加することによって、学習意欲の向上や責任感、連帯感を育てることにつながるとされています。</p> <p>実際、部活動が好きで、毎日楽しく活動している子供がたくさんいます。また、部活動の指導に積極的なやりがいを感じている教員もいます。</p> <p>部活動に教育的効果があることは認めるところです。しかしながら、近年、部活動をめぐる問題が相次いで提起されています。</p> <p>(i) 市内中学生の部活動の加入状況や日常活動の実態（活動日数・時間はどれくらいか、休養日があるのかなど）について、お聞かせください。</p> <p>(ii) 子供は学習、部活動以外の諸活動、休息、家庭や地域での生活に割ける時間が制約されているのではないかと思います。また、全国的に子供の命に直結する事故や暴力・体罰が発生していることも気がかりです。</p> <p>子供が、部活に「加入する・しない」の選択肢の現状はどのようになっているのでしょうか、お聞かせください。</p> <p>(iii) 教員の「労働」問題の観点から、教員の多忙化・過重労働の大きな要因として、部活動があるとされています。教員の本来の職務でないのに、大半の教員に部活動の顧問が割り振られているようですが、顧問をしている教員の割合、競技経験のない部活動の指導を行っている教員の割合はどうなっていますか。教員の最も重要な仕事である授業の準備や学級経営へ影響が出ているのではないかと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(iv) 保護者や地域住民から、部活動に関してどのような意見が寄せられ、それにどう対応していますか。また、保護者の部活動へのかかわり方も、以前と比べると積極的になっていると聞いていますが、見解を伺います。</p> <p>(v) 部活動の価値・意義を否定するものではありません。しかしながら、部活動の位置付けが曖昧（グレーゾーン）なままでの部活動のあり方を見直すべきと考えますが、今後の取り組みについての見解を伺います。</p>	

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	3番 伊藤勝美	<p><b>4. 子ども議会について</b></p> <p>最近、小中学校の児童・生徒を対象にした「子ども議会」を開催する自治体が多くなっています。</p> <p>子ども議会は、政治や地域に関する問題に関心を持ち、地方自治体の仕組みを体験的に理解することにより、将来の自治体を担う児童・生徒の育成になり、さらに、議会制民主主義の理解を深めるとともに、実際に自治体の議場を学習場所として体験することは、将来の子供たちにとってよい経験になると考えられることから開催されているようです。</p> <p>子ども議会の実施形態や審議内容については、実施されている自治体ごとにさまざま、子供に対する議会体験のプログラムとしての実施もあれば、子供の社会参加や発言権を具体化するための実施もありますが、違いはあるものの、議会・行政の意義や仕組みを理解してもらうことを目的にしています。</p> <p>また、まちづくりや教育行政など、児童生徒に身近なテーマについて、一般質問形式で首長や教育委員会に質問・提案するといった形式が多く見られるようです。</p> <p>(1) 「子ども議会」についての見解を伺います。</p>	市長 教育長
2	7番 管野恭子	<p><b>1. 胃がん検診に、ピロリ菌感染の有無・胃粘膜の萎縮度を調査できる「ABC検診」の導入について</b></p> <p>この件については、平成25年9月の第405回市議会定例会で一般質問している。</p> <p>WHO（世界保健機関）は、この度、2015年にがん死亡した人数はおよそ880万人とし、30%から50%のがんは防げる可能性があるとして、予防対策や早期の診断などを促す新たなガイダンスを発表した。</p> <p>またWHOは、現在、世界にはがんと判断される人はおよそ1,400万人おり、2030年には21,000万人を超えると予測している。</p> <p>我が国のがん死亡数は、国立がん研究センターによれば、2014年では、男女合わせて368,103例になっている。この内、胃がんの死亡数は男性31,483例、女性16,420例の計47,903例であり、がんの死亡順位では、胃がんは男性第2位、女性第3位であり、罹患順位は、2012年で男性第1位、女性第3位となっている。</p> <p>このように我が国の胃がんの死亡率、罹患率は非常に高く、その胃がんの原因のほとんどが「ヘリコバクターピロリ菌」であり（以下「ピロリ菌」と述べる）50代以上の年齢に発生率が高い。</p> <p>国内におけるピロリ菌感染者数は約3,500万人、人口比で4人に1人の割合、約80%が50歳以上であると言われている。</p> <p>これは、上下水道のインフラ整備以前の衛生環境により感染、団塊の世代の多くが幼少時に感染しているとみられている。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	7番 管野恭子	<p>ピロリ菌に感染した場合、痛みなどの自覚症状が少なく、数十年という時間をかけて進行し、これが慢性胃炎であり、この一部が胃潰瘍や十二指腸潰瘍、やがて、胃がんを発症すると言われている。</p> <p>2012年6月、「がん対策推進基本計画」が改正され、これまで入っていなかった「胃がんとピロリ菌の関係」の1項目が盛り込まれ、2013年2月にはピロリ菌感染胃炎の除菌が健康保険適用になった。</p> <p>現在、胃がんは、原因の多くを占めるピロリ菌を除菌することで、その発症を大きく抑制できるということから、ピロリ菌の有無及び胃粘膜の委縮度を調査できるABC検診などを、従来の画像検診とあわせて行い、検査費用を助成する自治体が増加している。</p> <p>このABC検査は、血液検査で行うことができるものである。胃がん発生の予防、早期発見につながるもので効果的な取り組みであると考えている。</p> <p>大事な市民の健康と生命を守り、より笑顔あふれる白石構築のためにも、本市において、ピロリ菌感染の有無及び胃粘膜萎縮度を調査できるABC検診の導入をぜひ検討すべきであるが、市長の見解を伺う。</p>	
		<p><b>2. 市営住宅の階段部分への手すりの設置について</b></p> <p>宮城県は、「だれもが住みよい福祉のまちづくり条例」を定めているが、第1条の目的に「この条例は、だれもが住みよい福祉のまちづくりに関し、県、市町村、事業者及び県民の責務を明らかにするとともに、だれもが住みよい福祉のまちづくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、高齢者、障害者等を始め、すべての県民が安心して生活を営むことのできる住みよい社会の実現に寄与することを目的とする」とある。</p> <p>本市の市営住宅には高齢の方、子育ての方、さまざまな方が入居されているが、階段に手すりが設置されていないのが現状である。</p> <p>県の条例の主旨から、また「安心安全」「笑顔あふれる白石」視点からも、ぜひ市営住宅の階段部分に手すりの設置を検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長
		<p><b>3. 白石和紙について</b></p> <p>施政方針において、市長は、白石和紙について、「歴史ある貴重な白石和紙文化を後世に引き継ぐための方策を講じていく」旨を述べられているが、次について伺う。</p> <p>(1) 平成28年6月市議会定例会で決議された平成28年度の補正予算「伝統産業振興ビジョン策定事業」についての進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 白石和紙文化を、後世に引き継ぐための方策をどのように展開しようと考えているのかを伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	16番 松野久郎	<p><b>1. 平成29年度施政方針について</b></p> <p>平成29年度は、「第5次白石市総合計画」の7年目になります。白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」の実現に向けて今予算を策定したことを踏まえ、「第5次白石市総合計画」に掲げた目標に沿って質問いたします。</p> <p>(1) 「豊かな感性と人間性を育み、伝統文化を継承するまち」から</p> <p>① 児童生徒の教育について、小中学校と連携し、児童の保護者や生徒を対象とした、家庭における教育力向上に向けた出前講座を実施すると掲げてありますが、具体的な取り組み内容について伺います。</p> <p>(2) 「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」から</p> <p>① 生活困窮者自立支援法の「学習支援事業」として、生活困窮者の子供を対象に、週2回程度の学習支援等を実施するとありますが、具体的な事業内容と実施体制、スタッフの確保等について伺います。</p> <p>(3) 「産業に活力を生む新しい価値を創造し続けるまち」から、次の3項目について伺います。</p> <p>① 有害鳥獣対策として、有害鳥獣被害防止対策事業に取り組んでいますが、鳥獣被害対策実施隊イノシシの捕獲・駆除費として、捕獲見込頭数1,670頭、助成制度の交付金25,700千円を計上しておりますが、次の点について伺います。</p> <p>(i) 1頭の捕獲に対する駆除費は、現在幾らとされているのか、平成29年度は幾らと見込んでいるのか伺います。</p> <p>(ii) 白石市鳥獣被害対策実施隊の各分隊が窓口として、イノシシの捕獲・駆除をしていただいておりますが、「白石市鳥獣被害対策実施隊設置要綱」の第8条には、隊員には報酬を支給するとあります。</p> <p>駆除費がこれに該当するのか、また、支給方法や時期がどのような手順で行われているのか伺います。</p> <p>② 交流人口の拡大として、「フィルムコミッション推進事業」を継続するとありますが、平成28年度の取り組み状況と平成29年度の事業計画について伺います。</p> <p>③ 定住化促進において、「地域おこし協力隊推進事業」を立ち上げました。全国でそれぞれの地域を活かした取り組みが行われておりますが、受け入れ態勢が不十分のまま隊員を募集し、隊員の貴重な時間を奪ってしまったなどの報道もされております。</p> <p>本市の農林業の分野に活用したいとありますが、</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	16番 松野久郎	<p>具体的な受け入れ等、どのような検討をしているのか伺います。</p> <p>(4) 「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市へ」に向けて、数々の市政運営に対する基本方針を掲げていただきました。特に、今回特別委員会を設置したスマートインターチェンジの整備や、市長の公約にも掲げた「複合型道の駅構想」「子どもの遊び場の整備」、また、庁舎建設基金積立など、市民も大きな期待と関心を持っております。</p> <p>今後どの時期まで、これらを実現していく考えなのか市長の所見を伺います。</p> <p>(5) 白石市には、昭和29年4月の市制誕生を記念して公募した「白石市民歌」があります。</p> <p>「“白石市民歌”を歌う！～あしたば音楽教室」なども開催されていたと思いますが、「住みたいまち」「住み続けたいまち」「市民の笑顔あふれる白石」の実現にむけて、市のイベントや各地区公民館のイベント等で、ぜひ白石市民歌を活用してはいかかかと思っておりますが、市長の所見を伺います。</p>	
4	1番 佐藤龍彦	<p><b>1. 国民健康保険について</b></p> <p>2015年に「医療保険制度改革関連法」が国会で成立しました。これにより、現在、市町村で運営されている国民健康保険事業が、平成30年度をめどに都道府県は、市町村と共同で運営することとなります。</p> <p>国保の加入者は、会社を退職し、年金暮らしとなった高齢者、そして、自営業者、パートやアルバイトなど会社の社会保険に加入していない非正規で働いている方などで、比較的所得の少ない方が多く加入する保険です。厚生労働省の統計調査により、世帯の平均所得が大きく落ち込んできているにもかかわらず、国は、国庫負担の削減を実施しました。</p> <p>また、高齢化などによる医療費の増加などにより、1人当たりの国保税（料）は、加入世帯にとって、大きな経済的負担となつてのしかかっています。</p> <p>このような状況では、支払い能力以上となり、悪質な滞納だけではなく「払いたくても払えない」という滞納者が増加してしまいます。本市においても、「国保税を納めるのは大変だ」「食費を減らすなどして、何とか国保税を納めている」という声が多く寄せられています。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 短期被保険者証と資格証明書の発行枚数を伺う。</p> <p>(2) 市町村で運営されている国保は、さまざまな問題を抱えている。市として加入者の実態をどのようにとらえているのか伺う。</p> <p>(3) 平成28年度の白石市における保険者支援金の交付額は幾らなのか伺う。</p> <p>(4) 支援金をどのように活用しているのか伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	1番 佐藤 龍彦	<p>(5) 平成30年度、国保県単位化により市町村は県への納付金の100%納付が義務付けられるが、県が決定する納付金を全額、保険税で徴収できない場合はどのようなになるのか伺う。</p> <p>(6) 県単位化されることにより、国保の納税額は今後どのようなになるのか伺う。</p> <p>(7) 県単位化により、現在ある国保財政調整基金は、どうなるのか伺う。</p> <p>(8) 今後の国保事業について保険税の引き下げを行い、被保険者の負担軽減を図れないのか、また、1回の負担を軽減するために納付回数を増やす考えはないのか伺う。</p> <p><b>2. 保育園の待機児童対策について</b></p> <p>昨年、「保育園落ちた」の言葉が、日本中に広がり全国的にも大きな話題となりました。</p> <p>本市においても、保育園に入ることができなかった保護者の方やご家族から、「子供を保育園に預けることができなくて働くことができない」「白石は子育てがしにくい」などの声が寄せられました。</p> <p>市長も施政方針の中で、「安心して子どもを産み育て、心やすらかに暮らせるまち」を目標とされています。今後、さらに子育て世帯の支援に力を入れていくことと思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 現在の保育園の待機児童数について伺う。</p> <p>(2) 保育士の確保状況について伺う。</p> <p>(3) 今後、待機児童を解消するために定員枠を拡大するなどの対策を考えていないのか伺う。</p>	市長
5	6番 平間 知一	<p><b>1. 病院会計へ繰り入れる予算(案)について</b></p> <p>現在、人口減少や高齢化が進行し、医療需要が大きく変化していく中で、地域医療構想の策定が進んでいると思いますが、病院を取り巻く環境は、医師不足や厳しい経営状況のもとにあり、地域医療構想との整合性を図りながら、病院がその役割を継続的に担っていくためには、一層の経営改革が求められているところであります。</p> <p>今後、地域医療構想の実践には仙南医療圏全体での医療機能の維持、向上、経営効率化を目指した自治体間の連携が不可欠になると考えます。</p> <p>また、国からは、新たな改革プラン期間中の平成32年度までに経常収支の黒字化を目指すことが要請されており、経営改革の取り組みは決してたやすいものではないと考えております。</p> <p>さて、平成27年度の刈田病院事業に対する地方交付税(国からもらえるお金)は、普通交付税として国から企業債(借り入れた借金)の元利償還金(元利の返済額)、救急告示分が繰り入れられます。さらに、病</p>	市長



順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	6番 平間知一	<p>院運営費として病床1床あたり市町村705千円×病床数（一般＋結核＋感染）が国から繰り入れられます。合計すると約5億5,337万円となります。</p> <p>さらに、特別交付税として結核病床、感染病床、追加費用、基礎年金拠出金公的負担金経費等が国から繰り入れられます。</p> <p>その結果、普通交付税と特別交付税を合計すると約6億3,000万円が国から繰り入れられています。</p> <p>そこで、刈田病院会計への繰り入れですが、平成29年度の白石市外二町組合が病院会計へ繰り入れる予算額（案）は、18億5,537万円となっております。白石市の負担率は86.7%なので、16億861万円が白石市の負担額となります。そこで質問します。</p> <p>(1) 市に係る当初予算額は予算の90%です。初めから全額計上することはできないのか、お伺いします。</p> <p>(2) 平成29年度の繰入金合計は前々年度と比較すると4億6,037万円の増額になっています。市での病院会計に繰り入れる上限額があるのかについて、お伺いします。</p> <p>(3) 平成29年1月末現在の人口は白石市35,174人、蔵王町12,435人、七ヶ宿町1,502人の合計49,111人です。白石市が病院会計へ繰り入れる負担率は86.7%です。</p> <p>白石市の負担率の根拠について、お伺いします。</p>	
		<p><b>2. 廃校後の利活用について</b></p> <p>少子化の進展に伴い、県内でも多くの小中学校の統廃合の再編が進んでいます。</p> <p>白石市小中学校も、平成30・31年をもって3校の統廃合が決まり、現在は、学校統合に向けた準備等が進められています。廃校施設の利活用、より良い教育環境整備、地域振興に関する議論は、地域にとって将来の重要な問題であります。</p> <p>そこで、質問します。</p> <p>(1) 学校統合による準備委員会での進捗状況について、お伺いします。</p> <p>(2) 学校の統廃合は、地域の過疎化と人口減少に拍車をかけますが、その影響をどのように考えているのか、お伺いします。</p> <p>(3) 今後、学校施設の利活用について議論されると思いますが、校舎を利活用するためには、廃校前に活用方法を地元が中心となり、どんな地域にしたいのか意見を出し合い、行政に伝えておく必要があると思います。</p> <p>廃校後の利活用については、跡地利用検討委員会を設置するのか、どのような方針のもとに決定していくのか、お伺いします。</p> <p>(4) 学校施設は廃校手続きを完了すると、行政財産から普通財産に移行することですが、廃校後の学</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	6番 平間知一	校施設はどのようなものにまで転用が可能なのか、お伺いします。	
6	14番 佐藤聡一	<p><b>1. 介護予防事業について</b></p> <p>住み慣れたこのまちで、可能な限り自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、本市においても白石市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域包括ケアシステムの構築を推進しているが、その柱の一つである介護予防事業、特に介護予防センターについて質問する。</p> <p>(1) 介護予防センターを使用して、現在、どのような介護予防事業を行っているのかを伺う。</p> <p>(2) 市民より介護予防センターのトレーニングマシン等を自分も利用したいが、使用条件がわからない等のご意見をいただいた。一次予防を目的とした市民が介護予防センターのトレーニングマシン等を使用できるのか、また使用するにはどうしたら良いのかを伺う。</p> <p>(3) トレーニングマシン等の老朽化もあると聞く。高齢化が確実に進み、さらに介護予防事業は重要性を増してくる中、今後の介護予防センターの利用計画を伺う。</p>	市長
		<p><b>2. 2020年東京オリンピック・パラリンピック、ベラルーシ共和国の新体操チーム合宿受け入れについて</b></p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴うベラルーシ共和国の新体操チームの合宿が、本市と柴田町、仙台大学で実施されると発表された。新体操競技が盛んな白石市において、強豪国であるベラルーシのチームが合宿を行うことは、非常に有意義であり明るいニュースである。</p> <p>(1) 合宿の拠点としてホワイトキューブが使用されると発表されているが、現在の施設で国際的な新体操チームの合宿受け入れは問題ないのか、補修等は必要とならないのかを伺う。</p> <p>(2) 東京五輪のホストタウン登録を申請中と聞く。ホストタウンは、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとされており、市民が相互交流を図るための準備も必要と考える。</p> <p>出迎える市民や、特に交流を持ってもらいたい新体操に取り組む子供たちに、簡単なあいさつ等の言語習得等の取り組みをしてはいかがだろうか。良い環境で気持ちよく合宿を行ってもらうための、本市としてのソフト面の取り組みについて、現在考えがあるのかを伺う。</p> <p>(3) ホストタウンは、大会前後を通じた継続的な取り組みにしていくとされ、市長も「一過性にせずベラルーシとの交流を進めたい」と会見で話されている。具体的な計画はこれからと思うが、目指すべき目標</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	14番 佐藤 聡一	<p>として、どのような交流を継続していくのか市長の考えを伺う。</p> <p><b>3. 平成29年度施政方針について</b>  先日晒された平成29年度施政方針について質問する。</p> <p>(1) 施政方針において都市計画道路見直しに言及され、平成29年度一般会計予算においても、白石市都市計画道路網見直し業務委託料が計上されている。都市計画道路見直しへ向けた今後のスケジュールを伺う。</p> <p>(2) 同時に施政方針の中で、スマートインターチェンジの整備、企業誘致、また前回市議会定例会、所信表明の中では、道の駅、子ども屋内遊び場といった大型施設の整備についても言及されているが、そこに既存の施設も含めた、観光・商業・物流・生活の動線を考慮し、本市を活性化させるための都市計画道路見直しが必要と考える。  そこで、都市計画道路見直しを行うにあたり重視していく点を伺う。</p> <p>(3) 中心市街地の賑わい創出を図るにあたり、白石市中心部には、すまいる広場、城下広場があるが、フル活用されているとは言えない状態にある。  指定管理者へ委託している施設は調整が困難かもしれないが、こういった屋外の施設について、公共施設での発表を目的とした、踊りや音楽、その他パフォーマンス等の練習に対し、無料での使用を認めてはどうか。本人のみならず、家族や友人、また足を止めて見学する市民や観光客もいらっしやると考える。  にぎわい創出のための屋外施設の利用促進について考えを伺う。</p>	市長
7	11番 四竈 英夫	<p><b>1. 施政方針について</b>  山田市長におかれましては、就任後初めての新年度の施政方針を述べられました。諸問題が山積する状況の中での、今後の市政の舵取りは厳しいものがあると思いますが、若さと情熱と行動力をもって取り組んでいただきたいと思います。市民の皆様も大きな期待を持っていることと思います。今後のご活躍をご期待申し上げます。  そこで、施政方針の中から次の点について質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 放射能対策の中で、薪の焼却灰は放射能濃度が基準値以下であることから、全地区のものを焼却処分にしたとのことでもあります。それでは、基準値を超え焼却できずに各地区に保管している焼却灰は今後どのように対処するのか伺います。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	11番 四 竈 英 夫	<p>(2) 現在、薪風呂や薪ストーブ等を使用している家庭は何戸あるのかお伺いたします。</p> <p>(3) 震災後、薪風呂から灯油・ガス・電気等に切り替えを勧め、補助金も交付してきましたが、どのくらいの切り替えがあったのかお伺いたします。</p> <p>(4) 学校教育の充実は、確かな学力向上にあるとして1学級35人以下の少人数学級を継続するとともに、既存の電子黒板・タブレットパソコンのほかに、短焦点プロジェクターを導入されるとのことですが、その台数と導入の狙いについてお伺いたします。</p> <p>(5) IT機器の導入は、学力向上に大きく貢献することは言うまでもないことです。しかし、便利なあまり機器に頼りすぎ、機器がないと学習ができないということがないかと懸念されます。やはり、鉛筆を使い、手で文字を書くという学習は不可欠であると思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(6) 子育て支援対策では、保護者の急な仕事や用事、育児疲れなどの負担軽減を図るため、「一時預かり事業」を実施するとのことですが、その内容についてお伺いたします。</p> <p>(7) 放課後児童クラブは、第二児童館と福岡のクラブ室が増設されます。学校と保護者によっては大きな安心が得られるものと期待いたします。そこで、その受け入れ可能人数と待機児童があればその人数、解消の見通しについてお伺いたします。</p> <p>(8) 児童クラブの運営は、6年先まで民間により行うとのことですが、その具体的な内容をお伺いたします。</p> <p>(9) 地域医療の確立と健康づくり支援については、公立刈田総合病院の経営健全化が喫緊の課題ですが、医師不足・スタッフ不足に対応するため、宮城県や東北大学病院等とどのような連携をとられるのかお伺いたします。</p> <p>(10) 「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるまち」では、企業誘致が最大の課題となっております。現在、工業団地は飽和状態であり、新たな工業用地を造成しなければ、誘致は不可能かと思われませんが、所見をお伺いたします。</p> <p>(11) 農林業の振興については、食味日本一を目指す「ササニシキ」の栽培の拡大、白石三白野菜（とうもろこし、かぼちゃ、サトイモ）の生産・販売などを掲げておられますが、その具体的な推進方法をお伺いたします。</p> <p>(12) 益岡公園野球場は、2年間の継続事業で改修工事が進められておりますが、工事の進捗状況をお伺いたします。また、完成の暁には記念の大会や記念試合など開催するお考えはあるのかお伺いたします。</p>	

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	11番 四 竈 英 夫	<p>(13)建築後44年を経過した市役所本庁舎の整備をするため基金設置の予算を計上されましたが、その具体的構想とプロセス（過程）について伺います。</p> <p>(14)現在はまだ白紙同然の状況であり、すべてはこれからだとは思いますが、おおよその予算、基金を除いた不足額の調達、国などからの支援措置などはないのか検討されているのでしょうか。</p> <p>(15)予算と同時に、建設場所も大きなポイントになると思います。現在の場所に建設するのか、他の場所に建設するのか、それだけで予算のかかり方が大きく変わります。</p> <p>これらのことについても検討されているのかお伺いいたします。</p>	
8	15番 佐 藤 秀 行	<p><b>1. 大人からのメッセージ（白石市の魅力）を伝えるプロジェクトについて</b></p> <p>市長は、施政方針の中で、自分自身も含めて、市民の皆様が愛してやまないこの白石市を「住みたいまち」「住み続けたいまち」とし、「市民の笑顔あふれる白石」を創り上げていくと話されています。また、12月の定例会においては、白石市には、課題が山積している。すべての原因は、人口減少、その問題が非常に大きく、すべての市政課題に起因していると考えている。一つ一つ解決するには市民の皆様のご協力とご支援が必要です、とも話されています。</p> <p>そんな中、先日、KHB東日本放送主催の「第15回みやぎふるさとCM大賞」で、白石市は見事、金賞（第2位）を受賞しました。これは昨年度のKHB大賞（第1位）に続き快挙であると思います。この作品は、企画・製作・撮影・出演などすべてを市民の数人のグループでつくりあげた「手作りのふるさとコマーシャル」です。30秒間ではありますが、白石の魅力、地元の魅力を十分に伝えている作品になっています。</p> <p>全国各地で人口減少対策、地方創生を目的としてさまざまなプロジェクトが展開されています。</p> <p>例えば、福井県大野市では、若い世代を対象とした「大野へかえろう」という活動を展開しています。これはいつか市外へ旅立つ高校生に、旅立ってしまったかつて高校生だった若者に、いつか地元へ帰ってきてほしいという大人からのメッセージを伝えるプロジェクトです。</p> <p>その活動の一つで、約1年をかけて制作した写真集「大野へかえろう」を今年1月8日に行われた成人式において、参加した新成人全員に贈呈しています。</p> <p>写真集を見た人を「大野へかえろう」という気持ちにさせ、Uターンを促すとともに、大野の魅力をツールとして、定住・交流人口の増加につなげることを目的として制作しています。地元市民が参加する編集会議を組織し、企画・構成などを行います。</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	15番 佐藤 秀行	<p>白石市でも同様な取り組みができないものかと考えます。例えば、小中高の行事や卒業式、成人式などの場を活用し、白石の魅力を何らかの形で大人が子供たちに伝え、地元の魅力を再認識してもらい、あわせて、郷土への愛情をもってもらう。特に高校生、成人にはいずれ地元に戻ろう、地元で働こうという思いを強く持ってもらうことにもつなげていく。</p> <p>そのような取り組みについて、福井県大野市をはじめ、他県、他市町村等の情報を収集しながら、白石市民のいろいろな人たちの知恵・考え・発想等を有効に活用していく。白石市の魅力を子供たちに伝える取り組み、そんな白石市の魅力を伝えていくプロジェクトを考えてみてはどうかと考えます。市長の見解を伺います。</p>	
		<p><b>2. 白石市の特色ある教育について</b></p> <p>市長も施政方針の中で、ALTを配置し進めてきた英語教育は、幼児期からネイティブな英語にふれ親しむ活動を推進し、国際化に対応した児童生徒を育成します。また、所信表明の中でも、ALTの増員やICT教育の充実など、教育環境の充実ということをお話されています。</p> <p>そんな中、新学習指導要領が小学校で平成32年度から全面実施されます。小学校三、四年生から「外国語活動」が始まり、五、六年生では、教科として「外国語」を実施することになります。文部科学省は、グローバルな社会に対応するため、英語教育の早期化を図るとしています。</p> <p>白石市のALTの取り組みについては、幼稚園・保育園・小学校専属として、平成28年度から3名増員され、現在は6名の配置になっています。</p> <p>直接外国の人とふれ合うことで、外国語と異国の文化に親しむことができるという面でも、ALT活用は極めて有効であると考えます。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ALTの白石市としての採用状況、現状についてお伺いします。(採用の仕方、任期等)</li> <li>(2) 近隣市町のALTの活用状況についてお伺いします。</li> <li>(3) 平成29年度のALTの配置・増員計画についてお伺いします。</li> <li>(4) 小中学校英語担当者教員やALTの研修についてお伺いします。</li> <li>(5) ICT機器(電子黒板、タブレット等)の管理・利用状況、また先生方の研修についてお伺いします。</li> <li>(6) 外国語教育の充実のための「グレードテスト」の成果と課題についてお伺いします。</li> <li>(7) 白石市の校長会、白石高校、市内の小中学校が連携している英語の推進事業についてお伺いします。</li> </ol>	教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	9番 大野栄光	<p><b>1. 子育て支援と人口減少について</b></p> <p>(1) 市長は、「子どもが夢を実現できる環境をしっかりと作りたい」と、子育てと教育の充実に取り組む姿勢を表明された。</p> <p>「人口減少で山積する問題の打破を目指し、先頭に立って積極果敢に突き進む」と決意のほどを示された。</p> <p>また、「笑顔あふれる白石」と所信表明され、市民も大いに希望するところであり、以下の点をお伺いいたします。</p> <p>① 市長の平成29年度予算配分の特徴と子育て支援の重点施策をお尋ねします。</p> <p>② 少子化と高齢化が進む中、止まらない人口減少が喫緊の課題です。「人口減少問題を打破し、積極果敢に突き進む」と決意のほどを示されましたが、具体策を伺います。</p> <p>③ ふるさとにて退職後の人生を送ってもらうためにも、駅の近くに健康高齢者が暮らせる集合住宅をつくり、充実した生活を過ごせる、地域活性化とあわせ持つ施策は考えられないか伺います。</p> <p>(2) 生活困窮者世帯の子育てについて、社会の豊かさの裏に格差社会と言われる貧困が潜んでいる。ひとり親の収入の低さに地方自治体も貧困の負の連鎖を断ち切るべく、生活困窮世帯支援の強化策を考えている本市においての実態を伺います。</p> <p>① 本市において、低所得者層とされる世帯の所得額はどのように算定されているのか伺います。</p> <p>② 低所得者層と位置付けされてる子育て世帯数と児童数は何名か伺います。</p> <p>③ 平等な教育を受け、社会人として成長し、夢を実現してほしい。高校・大学と教育費は高負担になり、家計を圧迫する。途中で挫折しないためにも、支援策も必要かと思われませんが、所見を伺います。</p> <p>④ 今回、入学祝金が第3子から支給されることとなりましたが、1.4人の子供数において少子化が加速する中、第2子からの入学祝金支給はできなかったのかお伺いいたします。</p>	市長
		<p><b>2. 戦没者慰霊について</b></p> <p>今ある豊かさは、多くの先人の努力と苦勞の賜物である。経済大国となった日本も、かつては大変に貧しい時代が続いた。</p> <p>国策の名の下に戦争に駆り出された若い命は、凶弾や病床に倒れ、ふるさとに帰ることはなかった。</p> <p>平和憲法に守られ、70年安寧に暮らすことができたのも、戦いの犠牲にあわれた方たちのおかげと思う。多くの英霊への慰霊についてお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	9番 大野 栄光	<p>(1) 終戦65周年に戦没者追悼式が行われた。ご遺族の方たちも高齢になられ、亡くられる人もある。今後自治体として、慰霊をどのような考えで進めていくのか伺います。</p> <p>(2) 各所に慰霊碑がある。中には、管理されないで枯れ葉や木の枝が散乱しているところもある。行政として管理できないものか伺います。</p> <p>(3) 福岡蔵本の陣場山に、明治42年に建立された記念塔がある。東日本大震災により崩落している。維持管理を行っている顕彰会の方たちも困っている。日清・日露戦争の英霊を祀っている碑を、自治体にて修復は考えられないのか伺います。</p>	
10	13番 菊地 忠久	<p><b>1. 平成29年度施政方針について</b></p> <p>(1) 幼児期からネイティブな英語にふれ親しむ活動を推進し、国際化に対応した児童・生徒の育成に努める、とあります。</p> <p>① 具体的にどのような取り組みをするのか伺います。</p> <p>② 幼少期は英語を学ぶより、母国語である日本語を通じて言葉への感覚を養うことが、より重要と指摘する学者もおります。英語教育の充実とともに、国語教育の充実も図らなければならないと考えますが、所見を伺います。</p> <p>(2) 有害鳥獣被害対策について、特にイノシシ被害が大きく、対策を強化するとあります。これまでさまざまな対策が取られてきましたが、被害に追いつかない状況だと認識しております。</p> <p>これまで以上の大規模な対策が必要と考えますが、所見を伺います。</p> <p>(3) 現在、本市の技術職員が不足していると聞き及んでいます。市長の掲げた施策を着実に実行していくためにも、技術職員の安定的な確保は重要です。</p> <p>そこで、さまざまな資格を保持している元自衛官の採用を積極的に行っていくべきだと考えますが、所見を伺います。</p> <p>(4) 「危機対策室」を「危機管理課」と昇格させ、組織体制を強化する、とありますが、どのような効果が期待できると考えるか、所見を伺います。</p> <p><b>2. インフラ不良箇所通報メールについて</b></p> <p>市には、市民の方々からさまざまなインフラの不良箇所について情報が寄せられています。しかしながら、言葉のやり取りだけでは、場所や状況が十分に伝わらないことがあります。</p> <p>そこで市のホームページに、専用の投稿フォームを設けたり、スマートフォンのアプリ等を活用して、写真や位置情報を送ることで、的確な情報把握が可能となります。</p>	市長 教育長



順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	13番 菊地忠久	<p>それによって迅速な対応が可能となるとともに、市民の行政やまちづくりへの参加意識向上が期待できると考えますが、所見を伺います。</p> <p><b>3. 「正しい日本地図」の掲示について</b>  平成26年2月の第408回市議会定例会において、山田議員（当時）が一般質問において、いわゆる「正しい日本地図」に関する質問を行ったところ、教育長は「ぜひ購入して教室に掲示等行いたい」旨の答弁をなされました。  その後、市で実際に地図を購入し各学校に配布されました。しかしながら現在、どの小中学校にも掲示されていないと認識しております。  (1) これまでの各学校における掲示実績、及び現在の状況を伺います。  (2) 「正しい日本地図」に対する所見を伺います。  (3) 今後、「正しい日本地図」の掲示を指導・奨励する考えはあるか、所見を伺います。</p>	教育長
11	5番 沼倉啓介	<p><b>1. 子どもの貧困への対策について</b>  2月の地方紙の朝刊に、子どもの貧困対策強化の大見出しの記事が一面に掲載されていました。  今議会の冒頭で、施政方針においても生活困窮者自立支援法の「学習支援事業」の取り組みについて述べられています。  子供たちが、好むと好まざるにかかわらず、与えられた家庭環境によって、自らの行く末が決められていくことは、できる限りの支援を講じていく存在であると思います。  先出した記事の中でも、仙台市や宮城県は、2016年度に実施した関連調査を踏まえ、当初予算にそれらに必要な予算を計上したり、種々施策を具体的かつ目に見える形で対応を図ろうとしています。  過般の議会でも、佐藤龍彦議員がこの問題を取り上げ、本市におけるこれらについての存在や貧困に対しての概念や対応について質疑がなされています。  新しい首長を迎え、諸課題に向き合う姿勢もひと皮むけた姿を見せていただけるのではとの期待感を持ってお尋ねをいたします。  (1) 本市の将来を子供たち、特に教育を重視される首長にとって、経済格差で子供たちの未来の芽を摘み取ってしまうこと等、一番耐え難い物事ではなかろうかと思えます。  白石版「子どもの貧困」の是正に向けた本格的取り組みは、何が必要と思われるか、胸の内をお聞かせいただきたい。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
	5番 沼倉啓介	<p><b>2. 県の水道3事業一体運営の取り組みの本市の今後の水道事業の見通し予測について</b></p> <p>宮城県は、2020年度から県内の広域上水道と下水道、工業用水の3事業を一体とし、民間企業と運営権契約を締結する方向で調整する旨の発表がなされた。</p> <p>それらは、みやぎ型管理運営方式として、大崎と仙南・仙塩の両広域上水道、仙塩と阿武隈川下流の流域下水道を一体化、民間企業が出資して設立する特定目的会社に運営権を与えるものとされている。</p> <p>水道事業は、人口減少による需要減少と将来的な収益減少が予想される等によるとされる。</p> <p>(1) 本市も、これらの取り組みに巻き込まれていくことは避けられず、大きな転換の必要性も生じてくると予想されることから、今後予想される推移等、開示可能な範囲でお聞かせください。</p>	市長